

令和3年度第3回春日井市地域公共交通会議議事録（書面決議）

1 経緯

- (1) 書面審議依頼日 令和4年1月12日（水）
- (2) 書面審議回答日 令和4年1月17日（月）
- (3) 議事確認依頼日 令和4年1月20日（木）
- (4) 決議及び議事録署名日 令和4年1月27日（木）

2 委員

【会長】	中部大学 工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委員】	春日井市 市長	伊藤 太
	名鉄バス株式会社	
	運輸本部運行部運行課長	大野 淳
	近鉄東美タクシー株式会社	
	運輸部長兼春日井営業所長	相川 敏行
	公益社団法人愛知県バス協会専務理事	小林 裕之
	愛知県タクシー協会 春日井支部長	奥村 薫績
	高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社	
	取締役	伊藤 眞司
	春日井市区長町内会長連合会 理事	幸池 登
	春日井市民生委員児童委員協議会委員	小川 寛
	春日井市老人クラブ連合会 副会長	金田 辰男
	春日井商工会議所 副会頭	木野瀬 吉孝
	社会福祉法人春日井市社会福祉協議会 会長	黒田 龍嗣
	春日井市婦人会協議会 書記	伊藤 月美
	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局	
	首席運輸企画専門官	山内 三奈
	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	高木 数馬
	愛知県尾張建設事務所 維持管理課長	増岡 浩仁
	愛知県春日井警察署 交通課長	橋本 博史
	愛知県都市整備局交通対策課 担当課長	澤木 徹
	春日井市建設部 道路課長	荻谷 健生

3 議事

- 協議事項1 高蔵寺ニュータウン内路線バス乗り放題1日乗車券の実証実験について

4 会議資料

5 議事内容（書面）

協議事項1 高蔵寺ニュータウン内路線バス乗り放題1日乗車券の実証実験について

【小林委員】

- ・コロナ禍で外出を控える傾向がある中で、バスで目的地までの往復利用は考えられるが、さらにプラスしてのバス利用は観光地でもない限りないように思われる。実証時期が悪いように思われる。決して実証を否定するものではない。

【事務局】

- ・本実証実験の目的の一つとして、日常生活における利用者の利便性向上に資する将来的な複数の交通手段のシームレスな乗継ぎを目指したものであり、往路復路における異なる路線バスの乗換ニーズの把握や事業実施における課題の洗い出しなどを行うものである。したがって外出を促進するものではないので、コロナ禍の状況に関わらず行うことを考えている。なお、実施にあたっては換気を行うなど、感染症対策を十分に行い実証をする。

【橋本委員】

- ① 検証するには、実施期間が短いのではないかと感じている。
- ② 問題発生等あれば、実施期間終了を待つことなく情報提供をお願いしたい。

【事務局】

- ① 春日井市内において、初の取組みであることから、料金設定や実施範囲、採算性などの不確定要素があることから、今回は1か月としたものである。できる限り周知を図り乗換ニーズの把握や事業実施における課題の洗い出しなど、必要な作業を進めていく。
- ② 承知した。

【山内委員】

- ① 1日フリーパスは運賃制度上、営業取引に該当する。目的は需要喚起であるため、単なる減収策にならないよう販売促進策を講じられたい。例えば、バス停に主要な施設があることを掲示したり、バス車内に広告を掲載したりするなど。
- ② どのようなデータがこの調査で取れるのか。

【事務局】

- ① 本実験の目的の一つは小林委員の意見に対する回答のとおりである。周知については対象地域にチラシを配付するとともに、主な施設、バス車内でのチラシ設置など関係者と協力して対応をしていく。
- ② 資料1の概要のとおりである。初の実証実験となるため、導入を行った場合の主に運営側（運転手も含む）の問題点など主に課題を洗い出すのも目的の一つであり、

将来的な他の交通手段間のシームレスな乗継を目指した検討もあわせて進める。なお、運転手による利用状況(乗降箇所等)の把握については、安全な運行に支障をきたすおそれがあることから、今回は実施しない。

【伊藤(月)委員】

- ・ 3月の春日井市の状況がどうなるかわからないが、ワクチン3回目を終えた人は桜を見に出かけるかもしれない。シティバス以外に名鉄バスも使えるとなると人も多くなると思う。

【事務局】

- ・ 関係者と連携しながら、車内換気など以前から実施している感染症対策を行うとともに、利用者に対しても感染症対策を求めるなど十分留意しながら実証をする。

【小川委員】

- ・ 特段の意見はない。北部オンデマンドバスの運行について、喜びの声も多く聞かすが、不便を感じている地域のバス停の見直しを随時行って欲しい。

【事務局】

- ・ 北部オンデマンドバスのような新しい移動手段の検討は、地域が主体となって地域に相応しい手法を検討していくことが重要であると考えている。地域の機運を育てつつ、随時検討を進める。

協議事項1については、書面による議決の結果、全員異議無く承認された。

上記のとおり令和3年度第3回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び委員1人が署名及び押印する。

令和4年1月27日

会 長 磯部 友彦

署名人 木野瀬 吉孝